



第 3 9 号

令和 7 年 6 月 1 3 日 発行

5月のブルーメンの会は、4名の方が集まりました。

自分は今こんなことが困っているけど、他の人はどうなの？・・・という質問を受け、「ゴミ出しを忘れちゃうので、前の日に見えるところに準備しておく」「バッグに入れたつもりのものが入っていないんだよね」「電気のつけっ放しで怒られる」等々。そんなやりとりのあと「症状ってすすむでしょ。この先どうなるのだろうと不安に思う。」と A さん。

『新しい認知症観』というものを皆で確認してみました。

認知症があっても、その人らしく仲間とつながりながら、どう暮らしていくのかを決める・考える機会が尊重される地域づくりが目指されています。「“認知症”のイメージが悪いよね。“心地よい暮らしができていない人”とかとらえてもらおうと、周りの人が一緒に考えてもらいやすいかも」という意見もありました。どうでしょうか？

次回の日程

市外の方でもご参加いただけます。
お気軽にご連絡下さい。

令和 7 年 7 月 1 0 日 (木) 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0



「リサイクル紙ポットアート」
M・S 氏作



【問い合わせ先】

鴻巣市認知症地域支援推進員 いしい ばんない
石井・坂内
電話 0 4 8 - 5 9 6 - 2 2 8 3

埼玉県若年性認知症サポートセンター
電話 0 4 8 - 8 1 4 - 1 2 1 2

